

2019年度 オホーツク地区サッカー協会 第2回審判員研修会【報告レポート】

- 1 主 旨 審判員の審判技術強化ならびに審判員としての資質の向上をし、地区の審判レベルの向上を図る。
- 2 開催期日 2019年8月25日（日）
- 3 参加人数 2名
- 4 講 師 オホーツク地区サッカー協会審判委員会 工藤 尚 インストラクター
- 5 開催場所 <実技> えんがる球技場【遠軽町】（全国高校サッカー選手権地区予選大会会場）
<理論> えんがる球技場 ミーティングルーム
- 6 研修内容 (1) 審判実技 「2種 全国高校サッカー選手権大会オホーツク地区予選大会 2回戦」
主審での実技終了後 ①その試合の動画を見て主審のポジショニングの確認
②インストラクターとの振り返り
(2) 審判理論 「2019/20年サッカー競技規則の改正について」・「判定基準」
・2019/20年サッカー競技規則の改正について確認
・第12条「ファウルと不正行為」についてのディスカッション
- 7 研修成果 (1) 参加者2名のうち1名はユース審判員であり、副審を経験した。今後の審判活動に期待したい。
(2) 実際に自分のレフェリングを動画で確認することができた。特にポジショニングについては、改善点があり、今後活かされる研修であった。
(3) 今回は女子研修会と合同で行った。他の種別の審判員とディスカッションすることができた。
- 8 課 題 参加者が少なく、他の審判員のレフェリングを見る機会が少ない。自分で経験することも必要であるが、客観的に他の審判員を見ることで自分のレフェリングを振り返る機会ができるのではないかとと思われる。今後はそのような機会を設定し、審判員同士でディスカッションできる機会を設定したい。

